●「第６次大村市総合計画（案）」に係るパブリックコメントの内容と市の考え方

No.	該当ページ	該当箇所・意見内容	市の考え方
1	P65	市内に点在する医療資源や専門人材を有機的に結びつけ、分野横断的な連携を促進する環境を整えることについて、施策としてさらなる具体化を期待する。 高齢化社会への対応のみならず、若い世代や子育て世帯にとっても「安心して住み続けられるまち」という都市の魅力と持続性の向上に不可欠な視点である。	各種医療機関間の連携や、専門人材の確保・活用は、高齢世代に限らず全ての世代にとって、生活する上での基盤となるもので、本市においても重要な視点であることから、引き続き関係機関等と連携しながら取組を進めてまいります。
2	P12	「産業・人材・都市機能の好循環」において、医療・福祉・研究・人材育成が相互に連携する「高度医療・知的集積拠点」の形成という視点をより明確に位置づけることを提言する。 研究・実証・実装が地域内で完結しやすい環境を整えることは、結果として地域産業の高度化や新たな雇用創出にも大きく寄与するものと考える。	医療・福祉・研究・人材育成の連携を図り、研究・実証・実装が域内で完結する環境を整えることは、産業の高度化や雇用創出にもつながり得る重要な視点であると認識しています。 総合計画は本市の目指すべき姿を示すとともに、取組の方向性を示すものであることから、具体的な取組については、実現可能性や費用対効果も含め、関係機関等と連携し、個別の計画や事業において検討いたします。
3	P99	交通結節点としての機能と将来性を有する「新大村駅周辺エリア」の開発において、医療・研究・都市機能の連携を意識した土地利用や拠点形成の方向性を中長期的視点で反映させるべき。 医療関連施設や研究・研修機能などが段階的に集積することで、市民の利便性向上に加え、市外から高度な人材を呼び込む「関係人口」の創出という好循環を確実なものにすることを期待する。	新大村駅周辺エリアについて、交通結節点としての特性を踏まえた拠点整備や関係人口の創出につなげていく視点は重要であると認識しており、立地適正化計画の中で、医療・福祉・商業等の都市機能を誘導する区域として位置づけ、まちづくりを進めているところです。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

4	P25～P29	大村のしあわせの現状について タイトルでしあわせの現状とあるが、ページによっては課題しか掲載されていない箇所もあるため、バランスを整えてはどうか。	「大村のしあわせの現状」というタイトルに対し、内容が課題の記載に偏っているページがあるとのご指摘について、市民の皆様に趣旨が伝わりやすいよう、課題だけでなく本市の強みや魅力も適切に示せるよう、見せ方を工夫してまいります。
5	P111	「燃えないゴミ」の自宅前での回収をお願いしたい。せめて缶や瓶だけでも自宅まで回収に来るか、回収場ができればありがたい。	ごみの収集方法や回収拠点のあり方については、効率化を図りながらも、障害をお持ちの人などを対象に収集を行う「ふれあい収集」の実施や、必要に応じて集積所を設置する等、支援が必要な方が取り残されることのないよう、きめ細かな対応に努めているところです。 今後も、頂いたご意見も参考に、ごみ・資源物の収集のあり方について、研究を進めてまいります。
6		大村市の「まちづくり」に関して、現状の問題点に対する評価が十分でないように思える箇所がある。将来的な構想を設定するにあたって、これまでの「まちづくり」の反省点があるのであれば、その部分をしっかりと改善していくという方向性を示して欲しい。	本計画(案)では、現状分析において課題の整理を行った上で、今後の取組の方向性を示しています。 総合計画は本市の目指すべき姿を示すとともに、取組の方向性を示すものであることから、具体的な取組については、実現可能性や費用対効果も含め、個別の計画や事業において検討いたします。